

第26回

フロンティア技術検討会

◆テーマ

「水素エネルギー社会の実現に向けて」

水素は、水や化石燃料からだけでなく、産業の副生成物としても製造され、利用の段階では二酸化炭素を排出しない低炭素型のエネルギー源でもあります。今年度内には「水素を燃料とした自動車」の市販も予定されており、有力な持続可能なエネルギー源のひとつとして期待されています。

今年度のフロンティア技術検討会では、「水素エネルギー社会の実現に向けて」と題して、水素エネルギーの活用に向けた課題や、室蘭地域での関わりを考えていきます。

◆日時

平成26年

10月16日(木)14:00~

◆会場

中嶋神社 蓬峽 殿

室蘭市宮の森町1-1-64 TEL 0143-44-3338

参加料/講演会 無 料

交流会 3,000円

■主催

室蘭地域産学官連携事業実行委員会

構成

- 室蘭工業大学地域共同研究開発センター
- 室蘭工業大学地域共同研究開発センター研究協力会
- 公益財団法人室蘭テクノセンター
- 産学交流プラザ「創造」

■後援

北海道胆振総合振興局、室蘭市、登別市、伊達市、室蘭商工会議所、登別商工会議所、伊達商工会議所、室蘭信用金庫、伊達信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、日本政策金融公庫、北海道新聞社室蘭支社、室蘭民報社、北海道中小企業家同友会西胆振支部、北海道IM連携促進会

申込先/FAXにて下記までお申し込み下さい。

公益財団法人 室蘭テクノセンター FAX 0143-45-6636

講演会次第

開会挨拶 公益財団法人 室蘭テクノセンター理事長 栗林和徳

● 講演 1 14:10~15:00 (50分講演)

演題：水素社会の実現に向けて ～課題と取り組みの方向性～

講師 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

新エネルギー部 主任研究員 吉積 潔(よしづみ きよし)氏

トヨタ自動車(株)による燃料電池自動車の価格発表など、水素をエネルギーとして利用する社会が近づいている。政府においても、エネルギー基本計画における水素の位置づけの明確化や、水素社会実現に向けたロードマップの策定・公表など、政策が一層具体化している。本講演では、このような政策動向や実現に向けた課題、この解決に向けた取り組み状況などについて紹介する。

● 講演 2 15:00~15:40 (40分講演)

演題：北海道を水素油田に!! 再生可能なエネルギーを活用した社会システムの構造改革

講師 株式会社 フレイン・エナジー 代表取締役 小池田 章(こいけだ あきら)氏

北海道は再生可能エネルギー資源にめぐまれている一方、送電線の限界などによりそのポテンシャルを生かしていない。再生可能エネルギーにより得られた電力を「電力・水素燃料・熱」の三方法により利用することでより高い「エネルギー効果」と「経済効果」を生むことを提案する。合わせてここで生まれた「グリーン水素(風力水素燃料)」を間近に迫った燃料電池自動車向けとして供給した場合の事業試算について紹介する。

● 講演 3 15:50~16:30 (40分講演)

演題：燃料電池車へのトヨタの取り組み

講師 トヨタ自動車株式会社 流通企画部

北海道・近畿 地域統括部長 萩原 靖仁(はぎはら やすひと)氏

● 講演 4 16:30~17:10 (40分講演)

演題：炭素ナノ素材を活用した燃料電池用電極触媒の開発と高性能化

講師 室蘭工業大学 くらし環境系領域・応用化学ユニット 准教授 田邊 博義(たなべ ひろよし)氏

無加湿、150℃程度の中温域で安定的に動作可能な次世代燃料電池に関わる新規な金属を用いない炭素ナノ電極触媒や電解質膜について研究を紹介する。

◆ 産学官交流会 17:30~ (講演会終了後開始予定)

平成26年 月 日

第26回 フロンティア技術検討会 参加申込書

FAX 0143-45-6636

※参加欄に○印を付けて下さい。

企業名

TEL

役職名	氏名	講演会参加の有無	交流会参加の有無

※講演会参加費は無料ですが、交流会の参加費(3,000円)は当日、受付にてお支払いください。